

# Certified Nurse

各分野で活躍するスペシャリスト達  
信頼される看護の提供を目指し、活動しています

## 「寝かせきりゼロ、座らせきりゼロ」を目指して

脳卒中リハビリテーション看護  
認定看護師

5N病棟師長：豊崎 陽子さん  
(1995年入職)



急性期から生活をその人らしく生きることを目標に、医師・看護師・セラピスト等とチームを組み、日々頑張っています。大変なこともあります。看護のやりがいや楽しさを感じることができる分野です。病態や看護、リハビリテーションについて専門家から実際に指導や研修会を受けることができます。一緒に、脳卒中リハビリテーション看護をしてみませんか？

## 慢性疾患患者さんの伴走者として

慢性疾患看護専門看護師

5S病棟：田村 美和さん  
(2020年入職)



糖尿病や腎不全をはじめとする慢性疾患をもつ人は病気をもちながら日常生活を送っています。療養生活は一時的ではなく、疾患の特徴から長い経過をたどります。そのような慢性疾患をもつ人の過去・現在の病い体験を理解することに努め、未来に向かって病いととも生活できるように支援していきます。

## 褥瘡発生「0」を目指して頑張っています

皮膚・排泄ケア認定看護師

4N病棟 主任：西岡 一美さん  
(1999年入職)



2012年に認定審査に合格し、皮膚・排泄ケア認定看護師となりました。現在は外科病棟で勤務しており、手術後の傷や人工肛門を造設した患者さんのケアを行っています。看護専門外来や褥瘡回診で、より患者さんの個別性に合わせたケアが提供できるように、知識と技術を最大限に活用していきたいと考えています。

## 患者さんや家族の思いに寄り添える看護を目指して

皮膚・排泄ケア認定看護師

看護部 副主任：庭瀬 茜さん  
(2010年入職)



皮膚・排泄ケアとは、創傷・オストミー・失禁の大きく分けて3つの柱から成り立ち、3分野のケアの専門家といえます。皮膚にトラブルを抱えることで身体的障害だけでなく精神的苦痛も抱えてしまうため、尊厳にかかわる重要な分野だと考えています。患者さん・ご家族の方が安心して看護を受けられるよう最善を尽くし取り組んでいます。

## 地域の方に安心してもらえる救急看護を目指して

救急看護認定看護師

ER・外来 主任：富岡 久美子さん  
(2003年入職)



救急外来では患者さんの状態が刻々と変わり、関わる時間も短い中で責任もありますが、患者さんの回復を目の当たりにしたときには、心からやりがいを感じています。今後、救急需要はさらに高まると予測されますが、患者さんや家族へ寄り添った看護ができるよう、病院内外の職種や部門と連携し、地域の救急医療を支えたいと考えています。



# Certified Nurse

各分野で活躍するスペシャリスト達  
信頼される看護の提供を目指し、活動しています

## 病院を利用するすべての方々への感染対策の推進

感染管理認定看護師

看護部 副主任：浅井 雄治さん  
(2014年入職)



感染管理は医療現場の患者さん・ご家族・訪問者や医療従事者など、すべての人を対象に医療関連感染から守るための組織的な活動です。

他職種との横断的な活動の中で、互いの専門的な知識・技術・経験をもとに連携しあいながら「チーム医療」を行うことに、日々やりがいを感じています。

「いつでも、どこでも、何でも」をスローガンに感染対策の推進活動を行ってまいります。

## 「その人らしさ」を大切にした看護を目指して

認知症看護認定看護師

看護部 副主任：城 美鈴さん  
(2002年入職)



認知症を有する方は、入院すると身体症状や環境変化に伴い、混乱をきたしてしまう方も少なくありません。

そのような中で、不安や混乱を最小限にし、療養生活を送れるよう多職種と協同活動しています。

患者さんやご家族の不安な気持ちに寄り添い、安心して住み慣れた場所へ戻れるよう看護の質向上に貢献できるよう頑張っています。

## 一人ひとりがその人らしい療養生活ができる糖尿病看護の提供を

糖尿病看護認定看護師

5S病棟 副主任：中村 彰子さん  
(1999年入職)



糖尿病看護に関わり10年目の節目を機に、更なるレベルアップを目指し糖尿病看護認定看護師の資格を取得しました。

現在は、病棟で糖尿病教育入院、外来でフットケア、透析予防の合併症看護に携わっています。糖尿病は慢性疾患であり、生涯にわたり継続治療が必要です。その人らしい療養生活を送ることができるよう患者さんやご家族に寄り添った看護の提供を目指しています。

## 「がんと診断！」その時から始まる緩和ケア

緩和ケア認定看護師

7S病棟：村上 美乃枝さん  
(2006年入職)



緩和ケアは終末期ケアと思われがちですが、がんと診断されたときから、患者さんやご家族と共に歩んでいくケアです。

がんと告知されたショック、治療時期の苦痛や不安へのケア、終末期の症状緩和と心のケアを行います。

安心でき、できる限り苦痛を緩和した生活を送れるよう支援に励んでいます。

## よりよい社会生活を送るための支援を

がん化学療法看護認定看護師

看護部：山口 育子さん  
(2019年入職)



専門的な知識をもとに薬剤の安全・確実な投与と管理と共に、患者さん・ご家族に対する看護援助、看護スタッフに対する指導・相談の役割を担っています。

現在、外来化学療法室に勤務し、医師・看護師等の他職種と協力して、患者さんが自分らしい生活を送りながら安心・安全に治療が行えるように支援しています。

## 安心して受けられる医療の提供を目指して

クリティカルケア認定看護師

I C U：箭代 理沙さん  
(2011年入職)



クリティカルケアとは、生命の危機的状態（クリティカル期）にある重症患者さんを対象として行われるケアであり、あらゆる場で迅速な対応と、重症化の回避を行うことが求められます。

患者さんやご家族が安心して、治療・療養生活を送ることができるよう取り組んでいます。